

富山大学薬学部学生後援会

令和5年度(第26回)総会(抄)

令和5年4月7日(金) 午後1時30分より

富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーデトリウム

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 令和4年度事業報告 (p. 3)
 - 5-2. 令和4年度会計報告 (p. 12)
監査報告 (p. 12)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 13)
 - 5-4. 令和5年度事業予定(案)審議 (p. 14)
 - 5-5. 令和5年度予算(案)審議 (p. 18)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 19)
 - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 22)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

参加人数

正会員（保護者様）58名、

教員は、酒井副学長、松谷薬学部長、および学内理事（令和4年度および令和5年度教職員会員）含めて12名

（追補）赤沼理事と沖津理事は学部1年生担任用務のため一時中座した。

1. 開会の辞

歌理事から、開会の挨拶がなされました。

2. 会長挨拶

青島会長から、以下の概要の挨拶がなされました。

新しく入学された学生さんの保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および教職員理事各位への感謝の言葉を述べられた。また、保護者・正会員のみなさまへの思いやりの言葉、そして今後の明るい学生生活に対しての願いを述べられました。

3. 学部長挨拶

松谷薬学部長から、以下の概要の挨拶がなされました。

保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および富山大学薬学部の学生教育の現状について述べられた。特に、薬学科および創薬科学科の両学科の違いについて、入学定員、アドミッション・ポリシー、卒業・修了後の進路の観点で説明がなされました。

(正会員（保護者）のみなさまからの質問)

なし

4. 議長選出

議長として、青島会長が選出されました。

5. 議事

5-1. 令和4年度事業報告

5-1-1. 令和4年度(第25回)総会

担当：歌

令和4年4月8日(金)の午後1時30分より、杉谷(医薬系)キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて令和4年度総会を執り行いました。令和3年度の事業(総会、国家試験対策、TOEIC受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況)および決算が承認されました。また令和4年度の正会員理事12名、教職員会員理事8名、正会員監査1名、教職員会員監事1名が承認されました。さらに令和4年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。また、理事の方より、いくつか検討事項をご提案いただきましたので、今後の検討課題として対応していくこととしました。

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

担当: 谷本

結果

薬学部6年制導入後の第12期生が令和4年度に最終学年を迎え、令和5年2月18日及び19日に新卒者63名、既卒者8名、及びその他(旧4年制卒業生・受験資格認定者)7名が薬剤師国家試験を受験しました。先日3月22日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です(前々回全国合格率:68.66%, 前回全国合格率:68.02%, 今回全国合格率:69.00%)。

	富山大学		全国	
新卒	53名合格(63名受験)	84.13%	7,254名合格(8,548名受験)	84.86%
既卒	5名合格(8名受験)	62.50%	2,267名合格(5,146名受験)	44.05%
その他	3名合格(7名受験)	42.89%	81名合格(221名受験)	36.65%
計	61名合格(78名受験)	78.21%	9602名合格(13,915名受験)	69.00%

対策

令和4年度に学生後援会として、薬学科6年生(63名)および博士課程薬剤師コース4年生(2名)向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間

第108回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

今年度	内容	講義室
5月6日(金)	ガイドンスI(90分程度)	403
5月14日(土)	スタートアップ模試(全員)	403
7月23、24日(土・日)	ステップアップ模試(全員)	日医工ホール
9月20、21日(火・金)	全国統一模擬試験I(全員) (薬ゼミ)	403
11月7日(月)	ガイドンスII+講義(治療)	402
11月10日(木)	対策講義(化学)	402
11月15日(火)	対策講義(衛生)	302
11月17日(木)	対策講義(物理)	402
11月21日(月)	対策講義(生物)	402
11月25日(金)	対策講義(薬剤)	303
11月27日(金)	対策講義(薬剤)	402
11月28日(月)	対策講義(実務)	402

12月1日(木)	対策講義(薬理)	402
12月5日(月)	対策講義(法規)	402
12月8、9日(木・金)	全国統一模擬試験 II(全員) (薬ゼミ)	402
12月12日(月)	弱点克服講義(実務)	402
12月15日(木)	弱点克服講義(薬理・治療)	402
1月7、8日(木・金)	全国統一模擬試験(全員) (メディセレ)	303
1月12日(木)	弱点克服講義(薬剤)	402
1月16日(月)	弱点克服講義(薬理・治療)	402
1月19日、20日(木・金)	全国統一模擬試験 III(全員) (薬ゼミ)	402
2月18、19日(土・日)	第108回薬剤師国家試験	

費用

- ・薬学ゼミナール(講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式)： 3,224,000 円(税込)
 - ・メディセレスクール(模擬試験 1 回)： 271,700 円(税込)
- 総計： 3,495,700 円(税込)

国試対策の総額は 3,495,700 円で、65 名の受講者一人あたり 53,780 円となりました。薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人当たり 15,780 円を支援し、各受講者から 38,000 円/名を集金しました。博士後期課程 2 名は学生後援会からの援助なしのため、53,780 円/名を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

2 月 18、19 日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生のほとんどが近畿日本ツーリストによるツアー(2泊3日)に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました(旅行代金は一人当り 37,000 円)。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当: 田浦(代:千葉)

概要: TOEIC (国際コミュニケーション英語能力テスト) は英語によるコミュニケーション能力を検定する試験であり、大学院入試に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合があります。学生後援会では、主に創薬科学科に対する支援としてTOEIC講習会、学内IPテストなどを企画しています。

活動報告 (令和4年度)

1) 創薬科学科1, 2年生へのTOEIC最新テキスト配布(新規の活動, 令和4年10月7日)

- ・早期からTOEIC対策に取り組めるように、学生後援会入会済の創薬科学科1, 2年生全員に、最新の公式問題集(公式TOEIC Listening & Reading 問題集8)を配布しました。

経費: 学生後援会による支援(合計330,000円): 問題集8(単価3,300円) 100名分 金額 330,000円
(備考) テキストは未入会者の人数も含めて発注し、入会を呼びかけたものの、最終的に未入会者、および休学、退学者は配布の対象外となりました。このため15冊の残余が生じました。

2) TOEIC講習会(令和4年11月12日(土) 9:00~15:00)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコースの2クラス制で実施しました。令和4年度はZoomを用いてオンラインで実施しました。
- ・2クラスともに創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。

実施状況: 参加者28名(支援対象の学生27名、支援対象外1名)

(1) 入門コース: 15名 創薬科学科2年: 6名, 3年: 9名, 4年: 0名

使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8

(2) スコアアップコース: 13名 創薬科学科2年: 2名, 3年: 8名, 4年: 3名

使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7*

(*昨年使用したテキストを利用することで、昨年入門コースを受講した学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮したため)

経費: 1) 学生後援会による支援(合計271,000円)

(内訳)

入門コース授業料	5時間	22,000円/時間	金額	110,000円
添削費	15名	880円/名	金額	13,200円
スコアアップコース授業料	5時間	22,000円/時間	金額	110,000円
教材費(問題集7)	8冊	3,300円/冊	金額	26,400円
添削費	13名	880円/名	金額	11,400円

2) 支援対象外参加者の参加費等(合計5,800円(収入))

(備考) 入門コースのテキスト8は、2年生には項目1)にて配布しました。3年生分の9冊は、項目1)の残余にて充当しました(このため、テキスト8の残余は6冊です)。スコアアップコースは13名が受講のところ、テキスト7を8冊購入しました。昨年度入門コース受講生が1名おり、また残り4冊は、昨年度学生後援会で購入したテキストの残余にて充当しました。

まとめ 1), 2)より、学生後援会から合計265,200円(271,000-5,800円)を支援しました。

受講者数は昨年度(22名:創薬科学科2年:13名, 3年:4名, 4年:5名)を上回ることができました。

講習会終了直後にメールにてアンケートを実施しました。

・回答数:入門コース15名中4名, スコアアップコース13名中2名 回答者合計:6名

1. 満足度:大変満足 4名, おおよそ満足 2名, どちらでもない 0名, 不満 0名
2. 難易度:非常に易しい 0名, 少々易しい 0名, ちょうどよい 5名, 少々難しい 1名, 難しい 0名
3. 開催時期:適切 6名, 他の時期がよい 0名
4. 講習会の時間:長すぎる 0名, 少々長い 2名, ちょうどよい 4名, 短い 0名
5. 次回の参加希望:入門コース 1名, スコアアップコース 4名, 必要ない 1名
6. 意見等:

・前回の入門コースは解き方を主に学習し、演習の時間が少なかったように感じたが、今回のスコアアップコースでは演習の時間が多かったので、講習で学んだ内容を試すことが出来て良かったと思う。

・とても面白く、楽しく学ぶことができました。講演会後も、継続できるように、たくさんの工夫があってこれから英語の勉強を頑張ろうと思いました。

・自分一人では分からない勉強方法や、どれくらい正解できればこれくらいの点数が出るということの収穫があり、今後の勉強に役立つと思いました。

(備考) アンケートの結果は好評でしたが、回収率が悪かったことは反省点と考えています。

3) TOEIC-IPテスト 令和4年11月30日(水:予備調整日)14:00~16:00実施

・大学生協主催で行われています。

・入会済みの創薬科学科学生に対して、参加費3,455円を2回分まで支援しています。

経費: 学生後援会による支援:35名(創薬科学科2年:3名, 3年:29名, 4年:3名)

(内訳)受検料 3,455円×35名=120,925円

まとめ

学生後援会から、120,925円を支援しました。

受験者数(35名)は昨年度(19名:創薬科学科2年:2名, 3年:13名, 4年:4名)を大きく上回ることができました。授業のない予備調整日に実施したことが効果的であったと考えられます。

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当: 歌

令和5年2月10日(金)、薬学部4年次生を対象に令和4年度卒業研究発表会が行われました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じ、3年ぶりに対面形式にて開催となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による影響もまだまだあったもののそれにも負けずに行った研究成果を、創薬科学科生は卒業研究として、薬学科生は中間発表としてポスターにまとめて、3年ぶりに対面形式にて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、教員および学生からの質問に対して回答しました。3年ぶりの対面形式となりましたが、活発な討論が繰り広げられました。また教員、大学院生、学部生(3年次生以上)による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞6名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞6名が選ばれ、賞状と副賞(薬学科生は賞状のみ)が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費を提供しました。

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-5. 学生実習援助

担当：歌

今年度の支出はありませんでした。

参考)過去の事例(令和2年度)

講義実習棟に設置されている真空排気装置の配電盤が故障しました。真空排気装置は、2年次後期の化学系実習で使用しており、修理しないと令和2年10月からの実習が実施できない状況でした。そこで、学生後援会の学生実習援助からその修理費の一部をご支援していただきたく、副会長および学内理事の先生方と協議し、ご承諾いただきました。本来であれば、会長をはじめ、正会員の理事の皆様のご承諾を得るべきところではございましたが、実習実施に間に合わせるためには早急な修理を必要としたため、事後報告となりましたこと、お詫び申し上げます。

修理の詳細については、以下の通りです。

修理実施日：令和2年6月17日(水) 9:00～11:30

・学生後援会 学生実習援助からの支援分

真空排気装置点検修理 1式 170,000円

内容：作業費(購入品：シーケンサ CPU ユニット, パワーサプライ, リレー), 交通費, 諸経費

・化学系実習実施研究室からの補填分

(4研究室—薬用生物資源学, 薬化学, 薬品製造学, 分子合成化学—で5万円ずつ負担)

真空排気装置点検修理 1式 200,000円

内容：事前下見作業, 電気設計費, PLCソフト変換費, 現地作業費, 交通費, 諸経費

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-6. 課外活動に対する補助金

担当：中野

令和4年度の課外活動に対する補助金を決定し、支給しました。

5-1-7. 奨学資金援助

担当：中野

令和4年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は22名です。

5-1. 令和4年度事業報告(続き)

5-1-8. 広報

担当：廣瀬

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは総会や保護者懇談会の報告など逐次アップデートし、内容の充実を図っております。ホームページは令和3年度にリニューアルされております。ご覧いただければ幸いです。

(新)富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-1-9. 保護者懇談会

担当：歌

令和4年10月22日(土)の午後2時より杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、杉谷キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて開催しました。

5-1-10. 入会状況

担当：歌

令和4年度の新規加入者は109名(新入生薬学科70名中66名、新入生創薬科学科40名中34名、在学生薬学科3名、在学生創薬科学科6名)でした(新入生:2021.12.1~2023.3.31、在学生:2022.3.1~2023.3.31)。また、令和5年度入学者83名(新入生薬学科53名、新入生創薬科学科30名)の入会を受け付けました(2023.4.5現在)。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および3年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

特別選抜入学者:薬25名 創薬3名

前期合格者:薬42名 創薬29名

後期合格者:薬5名 創薬3名

5-2. 令和4年度会計報告

以下、池田理事から令和3年度収支決算における修正、ならびに令和4年度収支決算について報告がなされた。廣瀬理事から、2023年3月10日に監査がなされた旨も報告された。

担当：池田

令和3年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通り修正致します。

(自 令和3年3月1日 ~ 令和4年2月28日)

収支決算報告書(修正)

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告(R3)

〈略〉

令和4年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通り報告致します。

(自 令和4年3月1日 ~ 令和5年2月28日)

収支決算報告書

表 1-2. 学生後援会本会計収支報告

〈略〉

表 2. 緊急対策会計収支報告

〈略〉

表 3. 奨学資金会計収支報告

〈略〉

収支監査報告

〈略〉

以上の会計報告について、特に質問はなかった。

5-3. 新役員の選出

担当：赤沼(代:歌)

会長、新副会長、学内外の新理事、監事について、承認された。

令和5年度役員名簿

理事(正会員)

会長：	青島 圭子	(薬学科)	副会長：	笥 久史	(薬学科)
理事：	金森 信幸	(薬学科)	理事：	郷 達広	(薬学科)
理事：	野原 英治	(薬学科)	理事：	松澤 孝泰	(薬学科)
理事：	大島 健一	(薬学科)	理事：	深山 敦子	(薬学科)
理事：	<u>大野 秀棋</u>	(創薬科学科)	理事：	<u>武田 有紀</u>	(薬学科)
理事：	<u>山本 京子</u>	(薬学科)	理事：	<u>和田 恭典</u>	(薬学科)
理事：	<u>飯島 弥生</u>	(薬学科)	理事：	<u>齊藤 正樹</u>	(薬学科)
理事：	<u>鶴居 正美</u>	(薬学科)			

理事(教職員会員)

副会長：	<u>松谷 裕二</u>	(薬学部長)
庶務：	赤沼 伸乙	(薬剤学)
入会・人事：	<u>岡田 康太郎</u>	(製剤設計学)
課外教育 国家試験：	廣瀬 豊	(遺伝情報制御学)
課外教育 TOEIC 講習：	<u>千葉 順哉</u>	(薬化学)
課外活動・奨学資金：	<u>田口 雅登</u>	(実践薬学)
会計：	池田 恵介	(生体界面化学)
広報：	<u>沖津 貴志</u>	(分子合成化学)

監事

監事(正会員)	<u>筏井 薫</u>	(薬学科)
監事(教職員会員)	<u>沖津 貴志</u>	(分子合成化学)

(下線は新任)

5-4. 令和5年度事業予定(案)審議

5-4-1. 課外教育援助① (国家試験対策支援, 薬学科6年生対象)

担当: 谷本・廣瀬

令和5年度は、新カリキュラム導入後の第13期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科6年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和5年	5月頃	国家試験についてのガイダンス
	5月末頃	スタートアップ模試(薬学ゼミナール)
	7月末頃	ステップアップ模試(薬学ゼミナール)
	9月頃	全国統一模擬試験Ⅰ(薬学ゼミナール)
	11月頃	予備校講師によるガイダンス
	11~12月頃	予備校講師による講習会
	12月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ(薬学ゼミナール)
令和6年	1月上旬頃	模擬試験(メディセレスクール)
	1月中旬頃	予備校講師による講習会
	1月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ(薬学ゼミナール)
	2月下旬	第109回薬剤師国家試験

令和4年度の第108回国家試験は、科目により差はありますが、全体としての難易度は107回より低くなり、平均点が大幅に上昇しました。グラフを読み取る問題や反応式から計算式を導く新傾向の問題など、考える力を要する問題が出題されたほか、改訂コアカリ(R4)を意識した問題、新型コロナウイルス感染症の影響が伺える問題、医薬品としては開発段階のものが出題がみられました。また、歴史的人物を問う問題、薬学として重要な専門用語(レギュラトリーサイエンス)を問う問題が初めて出題されました。また、ニュースなどで取り上げられた井戸水で溶かした人工乳によるメトヘモグロビン血症も出題がありました。理論問題全体として、科目間の繋がりを考えさせる出題が継続しており、実践問題とともに、つながりを考えられるかどうか難易度を分ける傾向にありました。試験そのものの難易度とは別に合格割合のボーダーラインは年々高くなっていることから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導する予定です。令和5年度の国家試験対策は、過去3年間の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 令和5年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当：千葉

令和5年度は、以下の形でTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う予定です。

活動予定

1) 創薬科学科1,2年生へのTOEIC最新テキスト配布

- ・学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員に、最新の公式問題集(公式TOEIC Listening & Reading 問題集9)を配布予定です。

2) TOEIC講習会(令和5年11月を予定)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)により入門&スコアアップコースの2クラス制で実施します。本年度は対面による実施も含めて検討します。使用教材については、入門コースは最新の問題集9、スコアアップコースは令和4年度に入門コースで使用した問題集8の予定です。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。
- ・平成30年度より、学部2年生も受講(支援)対象としています。TOEIC活動周知を徹底して、参加者増(特に学部2年生)を目指します。

3) TOEIC-IPテスト(令和5年11月実施予定:大学生協主催)

- ・学生後援会から、創薬科学科学生の受験費(2回まで)を支援します。

* TOEIC対策についての周知

- ・年度始めのガイダンスにて、周知徹底を図ります。
- ・必修科目の授業後にアナウンスを行うなど、効果的な周知を行います。

* 今後の課題

- ・TOEIC対策の参加者は3年生が主となっており、令和4年度、2年生は講習会の参加者8名、IPテストの受験者2名と低調でした。令和5年度は2年生の参加者がより増えるよう努めます。
- ・大学院入試の出願時に外部英語試験(TOEIC等)のスコアが必要となるため、TOEICの対策を早期に行い、スコアアップする重要性を周知します(大学院入試ではTOEIC730点を満点と換算します)。
- ・薬学科の学生も製薬企業等への就職の際、TOEICスコアが必要な場合があるため、ガイダンス等で周知し、TOEIC対策への積極的な参加を促します。
- ・学生にとって受講、受験しやすい日程を考慮して参加者増に努めます。

5-4. 令和5年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-3. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当：赤沼(代:歌)

令和6年2月に薬学部4年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

5-4-4. 学生実習援助

担当：赤沼(代:歌)

本年度は、学生実習にて薬学部生全員が利用する化学実習室における「実験台流しの交換修理」に対して援助を行う予定です。

経緯

令和3年度に、化学実習室の実験台流し(SUS ステンレス製)が経年劣化により腐食し、漏水・漏電が発生しました。そこで化学実習室の実験台流し46個全ての腐食進行具合を調査し、腐食が特に激しかった14個の流しについて、薬学部経費にて耐化学薬品性の高いPP(ポリプロピレン)製の実験台流しへと交換修理しました(令和3年度末の春季休業期間中)。しかし未だ腐食が進行してきている実験台流しが残っており、追加での交換修理に対する援助の要望が有りました。

5-4-5. 課外活動援助

担当：田口

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

5-4-6. 奨学資金援助

担当：田口

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

5-4-7. 広報活動

担当：沖津(代:廣瀬)

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新)富山大学薬学部学生後援会ホームページ
<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-4. 令和5年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：赤沼(代:歌)

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和5年10月21日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

5-4-9. 令和6年度総会の開催

担当：赤沼(代:歌)

令和6年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上、令和5年度事業計画が各担当より説明され、原案通り承認された。

表 4. 学生後援会本会計予算(案)

〈略〉

表 5. 緊急対策会計予算(案)

〈略〉

表 6. 奨学資金会計予算(案)

〈略〉

以上、令和5年度予算案が、原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当：赤沼(代:歌)

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第100号(令和5年2月発刊)より抜粋、学年は受賞時)

- 卒業論文最優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
渋江 省吾 (創薬科学科4年:神経機能学領域)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
酒井 麻衣 (創薬科学科4年:応用薬理学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
近吉 雪乃 (創薬科学科4年:製剤設計学講座)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
中島 朋美 (創薬科学科4年:分子神経生物学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
山岸 永和 (創薬科学科4年:病態制御薬理学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
安井 達哉 (創薬科学科4年:遺伝情報制御学)
- 卒業論文優秀発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
清水 裕道 (創薬科学科4年:生体界面化学学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
筏井 佳奈子 (薬学科4年:生体界面化学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
和泉 勇輝 (薬学科4年:分子神経生物学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
市川 大貴 (薬学科4年:薬化学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
木村 萌黄 (薬学科4年:薬剤学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
近藤 有沙 (薬学科4年:がん細胞生物学領域)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
田中 里奈 (薬学科4年:応用薬理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和3年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和4年2月
水谷 玲那 (薬学科4年:応用薬理学研究室)
- 薬学部長表彰(令和3年度卒業式) 令和4年3月
片山 さくら (薬学科6年:応用薬理学研究室)
- 薬学部長表彰(令和3年度卒業式) 令和4年3月
畑中 翔 (薬学科6年:応用薬理学研究室)
- 薬学部長表彰(令和3年度卒業式) 令和4年3月
中島 朋美 (創薬科学科4年:分子神経生物学研究室)
- 薬学部長表彰(令和3年度卒業式) 令和4年3月
堀 圭汰 (創薬科学科4年:分子神経生物学研究室)

- 学生優秀発表賞・口頭発表の部(日本薬学会第 142 年会) 令和 4 年 3 月
小菅 周斗 (博士後期課程 1 年:薬品製造学研究室)
- 学生優秀発表賞・口頭発表の部(日本薬学会第 142 年会) 令和 4 年 3 月
大沼 逸美 (薬学科 6 年:がん細胞生物学研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部(日本薬学会第 142 年会) 令和 4 年 3 月
宮西 肇 (博士後期課程 3 年:薬物治療学研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部(日本薬学会第 142 年会) 令和 4 年 3 月
遠藤 広樹 (博士前期課程 2 年:薬剤学研究室)
- 最優秀発表賞(第 31 回神経行動薬理若手研究者の集い) 令和 4 年 3 月
松田 康佑 (博士前期課程 1 年:応用薬理学研究室)
- 最優秀発表賞(第 31 回神経行動薬理若手研究者の集い) 令和 4 年 3 月
山田 果琳 (博士前期課程 1 年:応用薬理学研究室)
- ポスター賞(第 19 回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム) 令和 4 年 5 月
西沖 航平 (博士課程 1 年:薬化学研究室)
- 永井財団大学院学生スカラシップ(日本薬剤学会第 37 年会) 令和 4 年 5 月
大小原 清貴 (博士前期課程 2 年:薬剤学研究室)
- 学生ベスト発表賞 優秀発表賞(日本生化学会北陸支部第 40 回大会) 令和 4 年 6 月
榊原 信太郎 (修士課程 1 年:分子神経生物学研究室)
- 学生ベスト発表賞 発表賞(日本生化学会北陸支部第 40 回大会) 令和 4 年 6 月
土手 陽世 (薬学科 6 年:分子細胞機能学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP2022 (33rd CINP Hybrid World Congress of Neuropsychopharmacology) 令和 4 年 6 月
宮西 肇 (博士後期課程 3 年:薬物治療学研究室)
- CINP-2022 Student Encouragement Award (33rd CINP Hybrid World Congress of Neuropsychopharmacology) 令和 4 年 6 月
宮西 肇 (博士後期課程 3 年:薬物治療学研究室)
- CINP-2022 Student Encouragement Award (33rd CINP Hybrid World Congress of Neuropsychopharmacology) 令和 4 年 6 月
徳竹 伯洸 (博士前期課程 2 年:薬物治療学研究室)
- 5th International Conference and Exhibition on Pharmaceutical Sciences and Technology Conference 令和 4 年 6 月
賀 卡 (博士後期課程 2 年:生体防御学領域)
- 若手道場優秀発表賞(Neuro2022) 令和 4 年 7 月
井城 綸沙 (博士後期課程 2 年:神経機能学領域)
- 令和 4 年度西宮機能系基礎医学研究助成基金賞 令和 4 年 9 月
宮西 肇 (博士後期課程 3 年:薬物治療学研究室)
- 第 57 回アルコール・アディクション医学会学術集会若手奨励賞 令和 4 年 9 月
楠井 優香 (博士後期課程 3 年:薬物治療学研究室)
- ポスター賞(第 38 回シクロデキストリンシンポジウム) 令和 4 年 9 月
西沖 航平 (薬学科 6 年:薬化学研究室)
- ポスター賞(第 5 回 PhD リクルートフォーラム) 令和 4 年 9 月
井城 綸沙 (博士後期課程 2 年:神経機能学領域)
- 優秀ポスター賞(Toyama Academic GALA 2022) 令和 4 年 10 月
桶川 晃 (博士後期課程 3 年:病態制御薬理学研究室)

- 優秀ポスター賞 (Toyama Academic GALA 2022) 令和 4 年 10 月
井城 綸沙 (博士後期課程 2 年: 神経機能学領域)
- Global Education Seminar Presentation Award 2022 令和 4 年 10 月
篠崎 友亮 (博士後期課程 1 年: 薬剤学研究室)
- Global Education Seminar Presentation Award 2022 令和 4 年 10 月
近吉 雪乃 (博士前期課程 1 年: 製剤設計学講座)
- 優秀発表賞 (2022 年度有機合成化学北陸セミナー) 令和 4 年 10 月
目黒 祥大 (薬学科 6 年: 分子合成化学研究室)
- 第 43 回日本レーザー医学会総会賞 (第 43 回日本レーザー医学会) 令和 4 年 10 月
石橋 直也 (博士後期課程 1 年: 応用薬理学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
大小原 清貴 (博士前期課程 2 年: 薬剤学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
奥出 南菜 (博士前期課程 2 年: 分子合成化学領域)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
松田 幹望 (博士前期課程 2 年: 生体界面化学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
山崎 航河 (博士前期課程 2 年: 分子合成化学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
竹田 優希 (修士 1 年: 病態制御薬理学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
堀 圭汰 (修士 1 年: 病態制御薬理学研究室)
- 学生優秀発表賞 学士課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
市川 大貴 (薬学科 5 年: 薬化学研究室)
- 学生優秀発表賞 学士課程部門 (日本薬学会北陸支部第 134 回例会) 令和 4 年 11 月
中村 太一 (薬学科 5 年: 製剤設計学講座)
- 若手優秀発表賞 (第 95 回日本生化学会大会) 令和 4 年 11 月
大沼 逸美 (薬学科 6 年: がん細胞生物学研究室)
- 学生賞 (膜シンポジウム 2022) 令和 4 年 11 月
宮島 綾梨 (博士前期課程 2 年: 生体界面化学研究室)
- 「未知に挑む女性研究者賞」奨励賞 (富山大学学長賞第 6 回「未知に挑む女性研究者賞」) 令和 4 年
12 月
山田 果琳 (博士後期課程 1 年: 応用薬理学研究室)
- BCSJ award (第 15 回超分子 π 電子系シンポジウム) 令和 4 年 12 月
西沖 航平 (博士課程 1 年: 薬化学研究室)

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

担当： 赤沼(代:歌)

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、平成 26 (2014)年度入学生から 2 年次以降の毎年 5 月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等についてご心配やご相談事がございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携してご相談に応じます。

平成 25 (2013)年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込みいただくようお願い申し上げます。お申し込みに関しましては、毎年 9 月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

総会終了後

附属薬用植物園の紹介 DVD における、春の薬用植物についての一部が上映された。

希望者を対象に薬学部施設の見学会が実施された。2 つの小グループに分かれ、池田理事および岡田理事による学内ツアーが実施された。